

ダイアジノンマイクロカプセル剤

ダイアジノン[®] SLENZOL

コガネムシ類幼虫に、
1回使用で長く効く!

特長

- ① **1回使用でコガネムシ類幼虫を
150～180日以上防除。**

ダイアジノンを高分子膜で包んだマイクロカプセル製剤のため、安定した状態で長期間保たれ、土壌中で150日から180日以上
の長期にわたり持続効果を発揮します。

- ② **毒性が大幅に軽減されました。**

普通物*です。*普通物とは毒劇物に該当しないものを指している通称。

- ③ **低臭性の薬剤です。**

水ベースの製剤のため、散布時の臭いが少ない薬剤です。



■適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数			
かんしょ	ナカジロシタバ	1,000倍	100～300ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内 （マイクロカプセル剤の植付前の 処理は1回以内、マイクロ カプセル剤の散布は2回以内、 粒剤の散布は2回以内）			
	コガネムシ類幼虫	50倍	100ℓ/10a	植付前	1回	全面土壌混和 又は畝立て前 作条散布				
		25倍								
		25～50倍								
		50倍								
25倍										
50倍										
500倍		1,000mℓ/m ²	は種前 定植前(本圃) 植付時(仮植床)	全面土壌混和		1回				
25倍		400mℓ/m ²					ポット育苗時	育苗ポット灌注 土壌表面に 散布後、軽く混和 育苗ポット灌注	2回以内	
500倍		8,000mℓ/m ²				1回				
25～50倍		100ℓ/10a	植付時						全面土壌混和	2回以内
100倍	200～400ℓ/10a	植付前								
なし(苗木)	アメリカシロヒトリ	200～700ℓ/10a	発生初期	4回以内	散布	4回以内				
芝	シバツトガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ成虫	1,000倍					0.3ℓ/m ²	コアリング時(目土前) 張り芝前		
	ケラ	250倍			1ℓ/m ²		土壌注入			
	シバオサゾウムシ幼虫 コガネムシ類幼虫	250倍			0.7～1ℓ/m ²				散布 土壌混和	
	コガネムシ類幼虫	25倍			1ℓ/m ²					1回
	樹木類	16g/培土m ³			400～2,000mℓ/培土m ³					

■上手な使い方

①整地

散布の前に、畑の耕起・碎土を十分に行ない、ていねいに整地してください。

②薬剤散布

畑の土壌表面全面にまきむらのないよう均一に散布してください。乾燥や紫外線により、カプセル

膜が劣化するおそれがありますので、散布後はすぐに土壌混和してください。

③混和

散布方向と直角に、15~20cmの深さで均一に行なってください。
※トラクター搭載散布の場合は、散布時に混和が同時に行なえます。

効果的な散布方法

●動力噴霧機散布

薬液が霧状に飛散しないようにノズルを調整してください。



●乗用トラクター搭載散布

散布と土壌混和が同時にできます。



●軽トラック搭載散布

大容量のタンクを搭載できるため、大面積への散布に適しており、散布時間が短縮できます。

注)半クラッチ走行は故障の要因となりますので、ご注意ください。



■散布液の作り方

- 粘濁性が高い液体のため、貯蔵中に沈殿を生じることがありますので、使用前に必ずボトルをよく振ってお使いください。
- 希釈後は直ちに散布してください。希釈後に静置した場合は、散布前に十分攪拌してください。

■散布後の処置と保管

- 希釈や散布に用いた器具は水でよく洗い、特にノズルなどの噴霧器はよく手入れをしておいてください。
- 凍結注意。冬季の低温時は、保管場所に十分注意し、凍結をさけてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

⚠使用上の注意事項

- 使用前によく振ってください(沈殿)
- 散布液調製後は速やかに使用してください。
- 希釈調製後に静置しておいた場合は、散布前に十分攪拌してください。
- 散布量は対象作物の生育段階・栽培形態及び散布方法に合わせ、所定量の範囲内で調節してください。
- なしのポット育苗時に使用する場合、処理面積に応じた使用液量を散布し、軽く混和してください。
- いちごのポット育苗時にポット灌注で使用する場合、使用液量を1m²あたりに定植する株数で除した液量を各ポットに灌注してください。
- コガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシ幼虫に対して土壌注入処理をする場合には、農薬を高圧噴射できるインジェクターを使用してください。
- コガネムシ類幼虫に対して散布処理をする場合は、コアリング時の目土前に処理してください。
- 樹木類の培土処理の場合、薬液が十分行き渡るように所定量の範囲内で使用液量を調整し、培土と混和してください。
- ミツバチに対する注意
 - ・巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 薬にかからないように注意してください(蚕毒)
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠安全使用上の注意事項

- 使用時は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を換えてください。作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- 誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください(弱い刺激性)
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 公園などで使用する場合は、使用区域に縄囲いや立て札をたて、使用中及び使用後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。

- 魚毒性等…河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください(甲殻類)使用残りの薬液が生じないよう調製し、使い切ってください。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、低温な所に保管してください。低温時は保管場所に十分注意し、凍結をさけてください。
- 火災時の措置…周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移動し、散水冷却してください。着火した場合は消火器(粉末、炭酸ガス、泡)にて消火してください。
- 漏出時の措置…少量の場合は、布等で拭取り回収してください。多量の場合は砂等に吸収させ、密閉容器に回収してください。火災時、漏出時の措置作業は必ず農業用マスク、手袋等の保護具を着用してください。
- 廃棄上の注意…使用残液が生じないよう使い切ってください。洗浄水などは河川に流さず、周囲に影響のない方法で処理してください。空容器は環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 輸送上の注意…移送取扱いはていねいに行ってください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。

この印刷物は2024年10月現在の登録内容に準拠して作成しました。

ダイアジノン
SLゾルの
最新情報はこちら



日本化薬株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号(明治安田生命ビル)

TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-0682

DPDZSL008Y2410Z2000